

## 平成 29 年度 医学部新入生オリエンテーション 医学部長挨拶

みなさんおはようございます。新入生のみなさん、まずは、ご入学、誠におめでとうございます。九州大学医学部を代表して皆様に心よりお祝い申し上げます。

意欲と希望にあふれたみなさんを医学部に迎え入れられたことを大変嬉しく思っております。

みなさんには、これから一年間は、一昨日入学式が開かれた伊都キャンパスで、まず教養となるべき学問を勉強してもらいます。伊都でしっかり勉強した後、場所をここ馬出の病院キャンパスに移し、「未来の医学・医療を担うプロフェッショナル」となるための基本を身につけてもらうこととなります。

いうまでもなく医学の対象は「人間」です。すなわち医学を学ぶということは、人間である自分自身の体について学ぶこと、あるいは人間である自分自身の心の仕組みについて学ぶことを同時に意味しています。また、医学を学ぶことは社会とつながることでもあります。例えば、冬に人間社会で流行するインフルエンザの例からも分るように、健康と病気は社会の問題でもあるからです。

医学で学ばなければならない量は結構膨大で、時に厳しいものです。けれども、医学は自分自身や社会を知ることと直結していることから分るように、医学を学ぶことはエキサイティングに楽しい営みでもあります。皆さんのこれからの 4 年間あるいは 6 年間は長いようで短く、瞬く間に過ぎ去っていくことと思います。しかしその間に、友達、先輩、後輩、あるいは師と言える先生と巡り会う事があるのではないかと思います。どうか出合いを大切に過ごして欲しいと思います。

さらに、医学の専門ばかりでなく、それ以外のことにも積極的に取り組んで広い視野を身につけて欲しいと願っています。よく学び、よく遊び、芸術、スポーツに親しみ、友と語り、そして、是非とも本を読みましょう。ときに本の力を借りながら多方面からじっくり考えるという方法は、古くからの人類の知恵であり、今でも極めて大切で有効なやり方です。多角的に知性を磨くことはもとより、感性もしっかり鍛えましょう。医学の問題は全て、多かれ少なかれ「いかに生きるべきか」という問いに重なってきます。

皆さんが大学生活を大いに楽しむと共に、これからの人生の基礎を築いて欲しい、と切に願っております。

2017 年 4 月 7 日 九州大学医学部長 住本 英樹